



平成 29 年 8 月 31 日

農業食料工学会 IT・メカトロニクス部会セミナー 2017 プログラム 「自動車と農業機械の自動運転技術」

1. 開催日と場所

日時： 2017 年 11 月 30 日（木）12:30～18:25
場所： 京都大学北部総合教育研究棟 1 階 益川ホール
主催： 農業食料工学会 IT・メカトロニクス部会

2. 開催趣旨

本セミナーでは、今日急速に開発が進められている自動車や農業機械の自動運転技術について、開発の最前線にいる専門家から最新の情報を提供していただく。各種センサや環境認識アルゴリズムといった自動運転の最新技術を紹介していただくとともに、今後開発が必要な要素技術や 10 年後の自動運転の未来像について参加者全員で情報を共有する。最後の総合討論において、参加者全員で、自動車ならびに農業機械の自動運転の現在と未来について意見交換を行いたい。

3. プログラム

- 11:45 受付開始
- 12:30 開会の挨拶 実行委員長 森尾 吉成（三重大学准教授）
- 12:40 学会長の挨拶 学会長 近藤 直（京都大学教授）
部会長の挨拶 部会長 飯田 訓久（京都大学教授）

セッション1「自動車の自動運転技術」

- 12:50 プロパイロットの紹介と一般道自動運転への挑戦
安藤 敏之 氏（日産自動車(株) シニアリサーチエンジニア）
- 13:35 自動運転を支える環境認識技術
澤田 学 氏（(株)デンソー 研究開発1部 部長）
- 14:20 自動車の自動運転から野菜・果実生産のロボット化・自動化へ
深尾 隆則 氏（立命館大学教授）

15:05 休憩（15分）

セッション2「農機の自動運転技術」

- 15:20 内閣府 SIP「次世代農林水産業創造技術」で目指す ICT・ロボット技術
一マルチロボット作業システムを中心にして一
玉城 勝彦 氏（農業・食品産業技術総合研究機構 ユニット長）
- 15:45 農業機械の自動運転技術について
中川 渉 氏（ヤンマー(株) アグリ事業本部 開発統括部 基幹開発部 部長）



- 16 : 10 ファームパイロットシリーズと次世代に向けたクボタの
「自動運転」開発への取り組み
後藤 義昭 氏 ((株)クボタ 農機技術本部機械開発管理部 企画チーム長)
- 16 : 35 Smart Eye Drive~単眼カメラを用いたオートステアリング装置
松川 雅彦 氏 (三菱マヒンドラ農機(株) 開発・設計統括部 開発・設計部 課長)
- 17 : 00 農業機械とロボット技術
楫野 豊 氏 (井関農機(株) 先端技術部 副参事)
- 17 : 25 休憩 (15分)
- 17 : 40 総合討論 (40分)
- 18 : 20 閉会の挨拶 副部会長 海津 裕 (東京大学准教授)
- 18 : 30 懇親会 (京都大学北部食堂 2F)

4. 参加申込と参加費

農業食料工学会イベント総合申し込みサイトから申し込みください。

参加申込サイト：<https://www.sbms.j-sam.org/modules/events/>

正会員：4,000 円，非会員：5,000 円，学生：1,000 円

懇親会費：5,000 円

申し込み締切：2017年11月10日(金)

5. 組織と委員

実行委員長	森尾 吉成 (三重大学准教授)
実行委員	飯田 訓久 (京都大学教授, 部会長)
	海津 裕 (東京大学准教授, 副部会長)
	岡本 博史 (北海道大学准教授, 部会幹事)
	岡安 崇史 (九州大学准教授)
	栗田 寛樹 (立命館大学准教授)
	樹野 淳也 (近畿大学准教授)
	帖佐 直 (東京農工大学准教授)
	長坂 善禎 (農研機構東北農研セ主任研究員)
	原 圭祐 (道立総研機構十勝農業試験場研究員)
	深見公一郎 (農研機構九沖農研セ研究員)
	森本 英嗣 (鳥取大学准教授)



6. 問い合わせ先

森尾 吉成 (三重大学), Tel : 059-231-9602, E-mail : morio@bio.mie-u.ac.jp

飯田 訓久 (京都大学), Tel : 075-753-6166, E-mail : iida@elam.kais.kyoto-u.ac.jp

地図

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

京都大学北部総合教育研究棟 1階 益川ホール

(緯度経度 35.031430, 135.786179)



Google Maps

以上.